

グレビーシマウマの「ラッキー」が

横浜の野毛山動物園に移動します。

当園のグレビーシマウマ「ラッキー」が野毛山動物園へ移動することになりましたのでお知らせします。

(1) 移動する個体

名前(性別):ラッキー(オス)

年齢:2歳2か月

(2018年8月6日 当園生まれ)

※京都市帰属個体

※両親

父親:「ラガー」2011年7月6日

東京都多摩動物公園生まれ

母親:「キララ」2010年7月17日

京都市動物園生まれ



移動する「ラッキー」

(2) 移動予定日

令和2年11月15日(日)

※11/15朝に当園を出発、翌11/16に野毛山動物園到着予定です。

(3) 移動先

横浜市立野毛山動物園

(4) 経緯

グレビーシマウマの移動については、日本動物園水族館協会の生物多様性委員会野生ウマ科動物合同計画推進会議で協議され、ここで決定された年間繁殖計画をもとに進められています。希少動物であるグレビーシマウマの繁殖により多くの成果が得られるよう、飼育園館同士で相互協力しながら繁殖を進めるため、当園もこの取り組みに参加しております。

今回の移動はこうした計画に基づき決定され、当園で繁殖した「ラッキー」の帰属である京都市と横浜市緑の協会との間で繁殖契約(※1)が結ばれ実現しました。移動後の「ラッキー」は横浜市立野毛山動物園で飼育されているメス「ココロ(※2)」の繁殖相手となります。

※1 繁殖契約(ブリーディングローン)について

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園間でこの契約に基づき動物を移動させることによって新たなペアを作り、繁殖に取り組んでいます。

※2 ※野毛山動物園で飼育されているメス「ココロ」

平成 29 年 6 月 22 日いしかわ動物園生まれ。

今年の 3 月 23 日に野毛山動物園へ移動し、現在メス 1 頭で飼育されています。

(5) 当園での飼育状況

2 頭(オス 1 頭・メス 1 頭) ※今回移動するグレビーシマウマ「ラッキー」を除く。

(6) 日本国内の飼育状況

令和 2 年 9 月 30 日現在、グレビーシマウマは国内で 8 施設、22 頭(オス 13 頭、メス 9 頭)が飼育されています。

(7) 今後の予定

10 月 17 日より移動までの間、キリン展示場前にて「ラッキー」の生まれた時の様子などを写真でご紹介するとともに、お別れのメッセージボードをご用意します。

「参考」

グレビーシマウマ(奇蹄目ウマ科 英名:Grevy's Zebra 学名:*Equus Grevyi*)

エチオピア、ケニア北部の乾燥した平原で 10 頭程の群れをつくり暮らしています。

数あるシマウマの種の中で最も大きく、体高:140~160 cm、体重:350~420 kg。性成熟はメスが 3 歳、オスが 4 歳とされ、寿命は 25~30 年と推定されています。ワシントン条約では、付属書 I「絶滅のおそれのある種で取引により影響を受けるもの」に指定され、国際自然保護連盟(IUCN)のレッドリストには、絶滅危惧種(Endangered)として掲載されています。